

2012年8月改訂 2012年8月改訂 2012年8月改訂  
(記載要領変更に伴う改訂) 記載要領変更に伴う改訂 記載要領変更に伴う改訂

一般用

漢方製剤

第2類医薬品

## 葛根湯エキス「顆粒」A

葛根湯エキス「顆粒」Aは、漢方処方である「葛根湯」から抽出したエキスを服用しやすい顆粒状に製した漢方薬です。「葛根湯」は、漢方の古典といわれる中国の医書「金匱要略」、「傷寒論」に記載されている漢方薬で、かぜの初期、鼻かぜ、頭痛、肩こり、筋肉痛に用いられます。

### ⚠ 使用上の注意



#### 相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください  
(1)医師の治療を受けている人。  
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。  
(3)体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。  
(4)胃腸の弱い人。  
(5)発汗傾向の強い人。  
(6)高齢者。  
(7)今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。  
(8)次の症状のある人。  
むくみ、排尿困難  
(9)次の診断を受けた人。  
高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
偽アルドステロン症 ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1カ月位（感冒の初期、鼻かぜ、頭痛に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この添付文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

裏面もよくお読みください。



**【効能・効果】**

体力中等度以上のものの次の諸症：

感冒の初期（汗をかいていないもの）、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み

**【用法・用量】**

次の量を、食前又は食間に水又は白湯にて服用してください。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	1包	3回
15歳未満7歳以上	2/3包	
7歳未満4歳以上	1/2包	
4歳未満2歳以上	1/3包	
2歳未満	服用しないでください	

**（用法・用量に関連する注意）**

(1)用法・用量を厳守してください。

(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

**【成分・分量】**

1日量（3包6.0g）中

カッコン湯乾燥エキス……………1.7g

カッコン……………4.0g	マオウ……………3.0g
ショウキョウ……………1.0g	タイソウ……………3.0g
ケイヒ……………2.0g	シャクヤク……………2.0g
カンソウ……………2.0g	より製した乾燥エキス

添加物として、D-マンニトール、乳糖水和物、香料を含有する。

**【保管及び取扱い上の注意】**

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

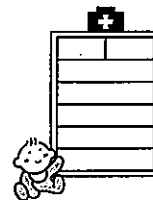
(2)小児の手のとどかない所に保管してください。

(3)他の容器に入れ替えないでください。

（誤用の原因になったり品質が変わります。）

(4)1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。

(5)使用期限の過ぎた製品は使用しないでください。



**■お問い合わせ先**

本品に関するお問い合わせは、お買い求め先、または下記にお問い合わせ申し上げます。

株式会社 廣貫堂 「お客様相談窓口」

電話番号：076-424-2259

受付時間：9時から17時まで（土・日・祝祭日を除く）

製造販売元



株式会社 廣貫堂

〒930-0055 富山市梅沢町2丁目9-1

副作用被害救済制度の問い合わせ先

（独）医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）